

優良な健康経営を実践する企業として 「健康経営優良法人 2021 大規模法人部門(ホワイト 500)」に選定

大分キャノンマテリアル株式会社は、経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人 2021(大規模法人部門(ホワイト 500))」に選定されました。

「健康経営優良法人」は、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度です。

2018年以降、大分県健康経営事業所・優秀健康経営事業所にも認定されています。



<大分キャノンマテリアル株式会社の健康管理に対する取り組み>

キャノン創業期から受け継がれている「健康第一主義」のもと、キャノングループ共通の中期計画に基づいて健康支援活動を展開しています。自発・自治・自覚の「三自の精神」が企業文化として根付いており、社員の高い意識と行動を大きな推進力に、メタボリックシンドローム対策やメンタルヘルスケア、職場活性化などに取り組んでいます。

代表取締役社長を健康推進責任者とし、生活習慣病予防、メンタルヘルス対策、がん対策の3つの大きな柱で健康経営を推進しています。

まず、健康診断では保健師が社員全員と面談し、相談しやすい環境の整備や、不調の早期発見につなげています。また、外部事業者による特定保健指導だけでなく、一部対象者には保健師が特定保健指導を実施しています。

そのほか、キャノン健康保険組合(以下「健保組合」)が導入した健康増進をサポートするICT(情報通信技術)ツールのスマートフォンアプリを活用したウォーキングイベント、大分県主催のスマートフォンアプリを活用した「歩得」など、健保組合や自治体とも連携をとり、健康増進活動を展開しています。

メンタルヘルス対策では昨年から人事部門と健康支援室が連携して年齢や職責に応じた教育に力をいれています。

2019年からは全ての職場に「健康推進員」を配し、健康課題に関する意見交換、がん検診に関する出張教育や出張予約会を協力し実施することで、よりニーズに合ったイベントの実施、社員への「健康経営」への関心、意識の高まり、がん検診受診率の向上につながりました。

今後も経営層・産業保健スタッフ・労働組合・健保組合が協働してPDCAを実践、加えてデータ分析結果に基づく具体的施策を継続展開することで、より一層健康経営を推進してまいります。

*「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。